

# 農業農村整備優良地区コンクール 農林水産省農村振興局長賞受賞

日頃は、農事組合法人ファーム肥田の運営にあたり肥田町民の皆様には格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

既に皆様方にはご周知のとおり、平成16年度に圃場整備の事業採択以来7年の歳月を経て取り組んできました経営体育成基盤整備事業が平成22年度に完成しました。肥田町の圃場整備は従来の単なる優良農地の確保と効率化からの圃場整備ではなく、意欲ある担い手(認定農家や集落営農組織)への農地の集積を目的とした経営体育成基盤整備事業でありましたので、担い手農家である集落営農組織の育成が義務づけられました。

肥田町の各農家は、個別完結型で平均経営面積も少ないため農外収入への依存度が高く、殆どの農家が兼業農家であり、かつ高齢化も進んできているため作業委託や担い手組織の育成が急務となっていました。

このため、本事業により区画整理や用排水施設が整備され、「肥田の農地は肥田で守る」を合言葉に農業経営の生産性や収益性を高めるべく、肥田町内農家の皆様のご理解とご協力をいただき平成17年3月20日に54戸の地元農家によって農業生産組合を設立し、面的集積を図り米麦大豆の品質の向上や作業の効率化を図るとともにハウス園芸にも取り組み、経営の安定化を目指してきました。

さらに、法人化についても平成23年12月に農事組合法人ファーム肥田を設立し将来を見据えての経営の展開が始まりました。こうした中、愛西土地改良区および滋賀県土地改良連合会の推薦をいただき、全国土地改良連合会主催の農業農村整備優良地区コンクールに肥田町農業対策委員会が応募させていただきました。

このコンクールは、全国より経営体育成基盤整備事業を契機に効率的かつ安定的な農業経営を行うため生産性や収益性の高い農業の展開を積極的に推進している地区、また地域独自の施策の展開や環境配慮など農村の振興を図り活力と個性ある地域づくりを進めている地区を対象に実施されるもので、平成24年2月21日東京で審査会が開催され、当肥田町農業生産組合の取り組みを発表させていただきました。

その結果、農林水産省農村振興局長賞を受賞することになり、平成24年3月27日東京で全国水土里ネット表彰式が農林水産省 仲野博子政務官および野中広務 全国土地改良連合会会長臨席のもと開催され、表彰を受けることになりました。

これは、ひとえに肥田町民皆様のご協力の賜物とこの場をお借りして有り難くご報告申し上げますとともに、表彰状は公民館に飾らせていただきましたのでお立ち寄りの際はご覧いただければ幸いです。

最後になりましたが、皆様には今後とも農事組合法人ファーム肥田の運営にご協力をよろしくお願い申し上げます。

農業組合法人ファーム肥田  
代表理事 成 宮 一 郎

肥田町皆様のご協力を頂きました肥田町のほ場整備では、先ず営農組織である肥田町生産組合の設立を致しました。そのためには、それぞれの所有の農機具も売却し生産組合に生産委託を致しましたので、一区画当りの面積が広くなり効率的な経営体となりました。また、生産組合が整備された集積で、米、麦、大豆に加えてハウス栽培にも進出し、健全経営を目指して生産組合が、「肥田の田は肥田で守る」の合言葉のもと、若いオペレーター、経験豊かな方々と一体となって明日の農業に立ち向かいましたことが、ここに滋賀県で初めて農林水産省農村振興局長の表彰に結びついたものと受け止めています。地区皆様のご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

肥田町農業対策委員会 委員長 山 岸 長兵衛



hida

広 報

ひだ

町 木



第62号  
肥 田 町  
まちおこし推進協議会  
H24.7.2 発行

## 写真で見る



# 活き活き 町の活動



6/10  
宇曾川堤防除草美化作業 (自治会)

ご苦労様でした。



6/10  
消火訓練(自治会)

ご家庭の消火器はいざというとき機能しますか?  
是非10年以上放置のものは詰替え、新規購入をお願いします。



# 特別寄稿 健康一番



私たちの子どもの頃を思い出しますと、お爺さんお婆さんが日当りのよい縁側で背中や足にもぐさを載せて煙のたなびく風景に出会いましたね。「あんたらも養生しいや」と声をかけてくれたものです。昔から「養生」とよく言われていましたが、養生とは食べ物を好き嫌いせず腹八分目、そして適度な運動を続けるなど、加えて正しい生活習慣づくりで健康を保つことが出来るという教えで、本来、人間には十分に自分の力で病に出会っても治せる力を持っていると聞いています。このたび、私が30年来親しくしていただいている健康の師で、また何でも語り合える大切な友人の斉藤誠治さん（京都府鍼灸師会会員）にお願いして「正しい生活習慣づくりー早起きのすすめ」のお話をいただきました。とかく薬漬けになり易い今日、それまでにやってほしい正しい生活習慣を上手に続けて頂くとのアドバイスです。皆さんの明るい健康讃歌の家庭づくりにお役に立てて頂ければ幸いです。

広報ひだ 藤野 泰弘

## 早起きのすすめ (正しい生活習慣づくり)

斉藤 誠治

先日の金環日食はマスコミの宣伝もあり、早起きされてご覧になられた方も多かったのではないのでしょうか。

ご存知のように六月は夏至もあり1年で1番日が長い月ですね。朝5時半くらいにふと目を覚ますと、もう外は日がとっくに昇っていて周りは明るい日差しで溢れています。

早起きは三文の徳と昔から言いますね。最近は会社員やOLが会社に出勤する前の時間を生かして英会話を習ったり、読書会を開いたり、スポーツジムに通って身体を鍛えるなど、朝の時間を有効に使いたいという人が増えているそうです。

でも早起きは無理だなあという人も明日は旅行に行かなければ、集合時間に間に合わせなくてはとなると起きられるものですよ。

寝坊助の人でも「えいっ」と起き上がると、とても良いことがあるのです。手を上げたり話したりなど意志をつかさどる体性神経（自分の意思でコントロールできる）を鍛えることにより、自分ではコントロールできない心臓や胃腸の働きをつかさどる自律神経も安定し、呼吸が整ったり、集中力がついたり、味覚が敏感になったりと本当の健康というものを味わうことができるようになります。早起きによって意志の力が強くなると自分に自信がつき、毎朝気分

の転換が図れて1日の行動にも良い影響が出てきますよ。

じゃあ実行してみようかという時に1番大切なことは「起きる時間を毎朝6時とするなら、必ず6時と一定にすること」。「何時間睡眠が必要だから何時に寝なきゃ」ではなく6時と決めたら、たとえ前の晩に遅く寝てもそれを守り抜くことが大切です。

睡眠が短かった日は早く眠くなるし、そうすると毎日決めた時間に起きられるようになります。寝付きが悪いからといって寝酒を飲むという人は、習慣性になり中途覚醒が増える傾向があるので良くありません。寝る前のたばこも1本で血管が30分間も収縮して血圧が上昇して心拍数も増加しますので、これもお勧めできません。

「でもなあ、いきなりはしんどいし」という人も3カ月を目標に頑張ってみましょう。早く起きて散歩に出かけて日光に当たると体内時計も切り替わり、神経伝達物質のセロトニンも働きかけ、姿勢を真直ぐに保つ筋肉をサポートします。最近の研究で妊婦さんが日除け対策をし過ぎて、赤ちゃんの骨が丈夫に育って生まれてこないという発表がありました。

太陽光は骨も作ります。早起きは三文の徳と昔から言いますよね。どうぞさわやかな朝の時間を活用してください。

### 写真で見る

## 生き活き 町の活動



5/20 肥田町小宮祭



4/13 和み会 (ボランティアサークル)

自転車事故多発の折、危険運転防止の訓練実習を行う。



4/14 山王総本宮 日吉大社 山王祭 (湖国三大祭) に参詣

- ・桂の奉幣 (例祭)
- ・天台座主五色の奉幣 (例祭) に出席